



播種前～播種期の管理作業

(麦の収量・品質の向上は最初の準備が肝心！)

1. 酸度矯正・施肥 ～生育障害を起こさないために～

＊ポイント

- ①収量が毎年低い圃場はpHの確認を *裸麦の場合は特に注意が必要です。
- ②播種前に施用しておくことが重要 *耕起作業と併せて行うと効率的です。

参考 pH6.2を目標とした土壌改良材の施用量 (kg/10a)

資材名	圃場の土壌pH		
	<4.5	<5.0	<5.5
ミネラルG・ケイカル	300	180	85
炭カル	250	150	70
苦土石灰	240	145	70

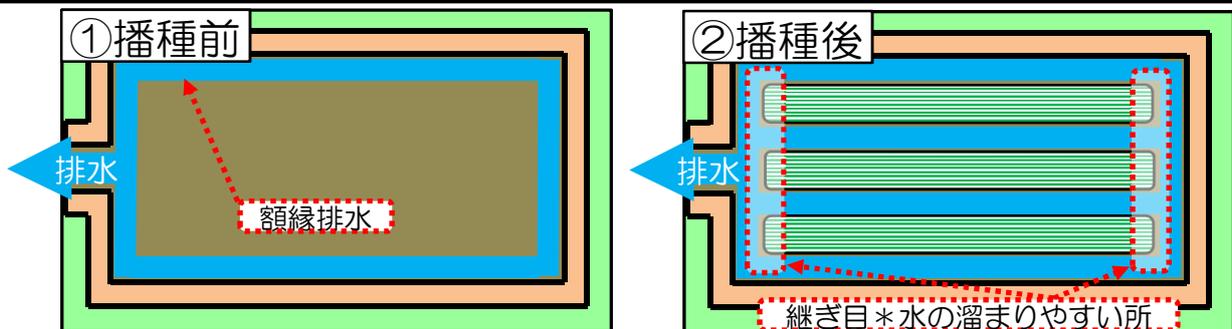
注) 粘質～壤質土壌の場合

* 麦種別の好適pH
小麦 pH6.0以上
裸麦 pH6.5以上

2. 排水対策 ～水を溜めない圃場にしましょう！～

＊ポイント

- ①播種前 圃場周囲に排水溝（額縁排水）を施工
*額縁排水の深さは15cm以上とし、20～30cmを目標としましょう。
- ②播種後 圃場内の畦間を溝上げし、排水溝を追加
*排水溝同士の継ぎ目は底を平らにし、水を溜めず確実に排水できるよう注意！



3. 適期播種等 ～早過ぎず、遅れず播種し収量・品質向上を！～

＊ポイント

- ①標高別の麦種・最適播種期に注意
*中山間地は期間が短いので、気象情報に注意し素早く作業しましょう！
- ②播種量は6～8kg/10a、遅れた場合は1～2割増やし収量を確保

参考 地帯区分別播種適期及び最適播種期

地帯区分 (標高別)	麦種	播種適期 (期間)	11月			12月
			上旬	中旬	下旬	上旬
平坦～準平坦地 (標高200m以下)	小麦・裸麦	適期		11月15日～12月10日		
		最適期		20日～25日		
中山間地 (標高200m以上)	裸麦のみ	適期	11月10日～25日			
		最適期	15日～20日			

- ・品質維持のため、種子更新は毎年行いましょう。
- ・雑草による生育阻害を防止するため、播種前後の除草剤散布を確実に行いましょう。

お問い合わせ先：大分県中部振興局 集落営農・農地活用班 電話097-506-5791
大分県農業協同組合〇〇部事業部 電話〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇